



## 校長先生からのメッセージ

1872年、学制発布を前に、徳浄寺内に誕生した栄小学校は、社会が大きく変化する中、150年以上も地域のみなさんの「子どもの教育は地域の方で」という強い思いと、歴史と伝統がなくさん継承されてきた素敵な学校です。特筆すべきは、校舎を建てるため、地域のみなさんがお金を積み立ててくださったことです。地域のみなさんの思いがこめられた当時の校舎は、日本三校の一つと言われたそうです。深い思いと、歴史、伝統が脈々と受け継がれ、今の第5期の校舎になります。その伝統を重んじ、学校では自分や友達を大切に、地域の人とのつながりも大切に子どもたちの育成につとめ、明るく元気いっぱい、笑顔の素敵なやさしい子どもたちの姿があふれるように、日々取り組みを進めています。

本校では、一年間の中で各学年が体験的な活動を取り入れることができるようにしています。多様な体験を通して、得られた発見や気づき、考えを確かにし、友だちと共有・対話することで、自分の考えをさらに広げ、学んでいくことを大切にしています。子どもたち一人ひとりが存分に力を発揮できるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。



## 運営に関する計画（概要）

### 【安全・安心な教育の推進】

小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいか」として、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にします。

小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他人の大切さを認めることができるか」として、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にします。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

小学校学力経年調査における、「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にします。

### 【学びを支える教育環境の充実】

小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にします。

教員の働き方改革に関して、時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。

## 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

### ●令和7年度調査結果の概要

### ●取組みの成果と課題、アクションプラン

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要と今後の方策

◆国語では、言葉と図で説明した理由を選択する設問や、問題文に登場する人物が気付いたこととして適切なものを選択する設問では、正答率が高かった。文章全体の構成や、言葉の使いに気付くことができる児童が多いためと考えられる。一方で、話合いの様子に当てはまる内容を選択する設問や、条件を満たして文章を書く設問では、正答率が低かった。このことから、必要な情報を整理し、説明したり結びつけたりすることが苦手な児童が多いといえる。

◆算数では、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述する設問や、「1.0%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを考える設問で正答率が低かった。思考・判断・表現の力を育成していく必要がある。

◆理科ではアルミニウム、鉄、銅について電気を通すか、磁石に引き付けられるかを選ぶ設問では、ほとんどの児童の回答が誤答となった。身の回りの生活と、学習した知識を結び付けていく活動が大切である。

◆「将来の夢や目標をもっていますか」の質問に肯定的に答えた児童の割合は73.3%で、全国平均に比べて低い結果となった。トップアスリートによる出前授業や文化芸術体験を取り入れるなど、キャリア教育をより一層充実させる必要がある。一方で、「人の役に立つ人間になりたいか」として、肯定的な回答が90%で全国平均に近く、「人が困っているときは、進んで助けてあげよう」として、肯定的な回答が96.7%と全国平均を上回った。本校の推進する人権教育の取組の成果であると考えられる。また、地域との連携を図った教科・領域の学習について、「まちたんけん」「車いす体験」等、横断的に取り組みカリキュラム・マネジメントを進めている。今後も継続的に取り組み、自己肯定感の向上に努めている。

※本校は調査対象学年が単学年級であるため、大阪府教育委員会の方針に基づき、平均正答率及び平均値の結果は公表していません。

## 全国体力・運動能力、運動習慣調査等の結果から明らかになった現状

### ●令和7年度調査結果の概要

### ●取組みの成果と課題、アクションプラン

◆体力合計点は、男女ともに大阪市平均・全国平均には届かなかったが「握力」「50m走」「ソフトボール投げ」の3項目で大阪市平均・全国平均を上回った。「立ち幅跳び」の平均値が男女ともに低い結果となったため、対策が必要である。

◆質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答において、男子は肯定的な割合が100%、女子は87.6%であり、ともに大阪市平均・全国平均を上回った。ただ、女子の最も肯定的な回答の割合は43.8%であり、大阪市・全国平均より10%程度低い傾向がみられた。男子に比べて、女子は運動やスポーツが好きな児童が少ない状況であった。

◆1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子が14.3%、女子は28.5%であり、大阪市・全国よりも割合が高い結果が表れた。

【本校の取組および成果と課題】

◆各種運動週間や強調週間において「がんばりカード」を活用するなど、児童のがんばりを可視化しながら取組を推進してきた。縦割り班活動や異学年交流を増やして運動集会の内容を充実させ、今後も児童が体を動かす喜びを味わえるように、強化していく。



## ○栄小学校 創立154周年

本校は、明治5(1872)年に創立した歴史ある小学校です。創立後、地域のみなさんが3年かかって積み立て、地域のみなさんの力で、レンガづくりの立派な校舎を1875年に竣工させました。本校舎は、その150年超の伝統と歴史を脈々と受け継ぎ、平成26年1月に移転した第5期の校舎です。



## ○交流学習やたてわり活動

異学年での交流学習や全学年でのたてわり活動の取組の強化により、お互いに認め合う人権教育を推進しています。



## ○少人数指導や専科指導の充実

各学年の実態に応じて、主に算数でコース別の学習を実施しています。少人数で学ぶことによって、子どもたちの「わかる喜び」や「できる楽しさ」を育成します。教員が教材に工夫をこらして、実践を積極的に進めています。



## ○SDGsの視点を学習に

持続可能な社会の実現に向けた「総合的な学習の時間」などの取組をもとに、自らの生き方を考えるための資質・能力を育成します。



## ○安全に関わる取組

「地域連合町会」「防犯協会」「保護者」「学校」が連携することにより、多くの方々に見守られながら、居住区ごとに10数班に分かれて、集団登校が毎日、安全に行われています。地域・保護者のみなさまによって子どもたちの安全や安心が大切にされています。

毎週水曜日の下校時にも、地域の方に見守っていただいています。その他にも防災・減災教育にも取り組んでいます。

